

審判上の確認

審判委員長

- 1 本大会は、2026年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則により実施する。
- 2 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。
- 3 サービス順の確認時にサービス順に記載されていない選手がいた時は、チームは記載されている選手に戻さなければならない。その選手を出場させたい時は、サービス順の確認が終わり両チームの選手がコートに入った後、試合（セット）開始前に正規の選手交代を要求し、その選手をコートに入れることができる。
- 4 タイムアウトに入ったらコートから離れなくてはならない。ただし、その位置については制限されない。
- 5 選手交代は1セットにつき6回まで要求することができる。ただし同じ中断中に連続して要求することはできない。先発選手は1セットにつき1回だけ交代してコートを離れることができる。また1セットにつき1回だけ自らの交代選手と交代してコートに戻ることができる。
- 6 特殊な事情による試合の中断によりノーカウントとなった場合、中断したときのサーバーの中断したときのサービス（第1または第2サービス）で再開する。
- 7 ネットプレーを予測してネットに接近し、身体や手および腕などを前に出したり、アンテナ外側のネットおよびロープに触れたりして、相手のネットプレーを妨害した場合はインターフェアの反則となる。
- 8 チームが1回目にヒットしたボールの全体または一部が許容空間の外側のネット垂直面を越えて相手側のフリーゾーンに行った場合、チームに許された接触回数の中から以下の条件のもとボールを取り戻すことができる。
 - (1) ボールの全体または一部は再びコートの同じ側の許容空間の外側からネット垂直面を越えなければならない。そうでない場合はボールアウトとなる。相手チームはこの動作を妨げてはならない。
 - (2) 選手は相手側のフリーゾーン内でプレーすること。
 - (3) チームが2回目または3回目にヒットしたボールの全体または一部が許容空間の外側を越えて相手フリーゾーンに行った場合は、ボールを取り戻すことはできない。ボールがネット垂直面を越えた時点でアウトとなる。
- 9 試合中、監督は自コートベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。着席する場合、その位置は記録席に最も近いベンチとする。